

第2学年 英語科学習指導案

日時	平成24年10月25日(木)第5校時
学級	2年2組(男子17名,女子16名,計33名)
場所	南舎3階 2年2組教室
授業者	加藤 三佐代・Daniel Vandiver

1 単元名

NEW HORIZON English Course Book2 Unit 5 A New Language Service

2 指導の立場

(1) 題材について

本単元の教科書題材は、緑市の新しい言語サービスが話題となっている。言語ボランティアの募集記事(Starting Out)、ボランティアに応募した一郎の母とベッキーの対話(Dialog)、外国人住民のための市の新しいサービスを紹介する新聞記事と新聞の投書欄(Reading for Communication)から成る場面である。観光客としてではなく住民として日本に暮らす外国の人たちが直面する問題や、言葉を通してのコミュニケーションの問題を取り上げることで、生徒はこの問題について自分の意見を持ち、伝えたり書いたりすることができる題材であると考え。

また、本単元では“TV is good for children. What do you think?”という話題や揖斐川町のよさについて取り上げる。生徒にとって身近な話題を取り上げることで、自分の考えをもつことができるようにした。本時の指導計画に関わって、特に「揖斐川町」を題材として取り上げた理由は3つある。1つ目は、自分たちの住む町を見つめ、よさを再認識させるためである。2つ目は、揖斐川町がアメリカのセントジョージと姉妹都市として交流をしており、今秋に交換留学生たちが来校して交流する機会があるため、留学生たちに揖斐川町のよさを具体的に伝え、互いの住む地域について交流することができるようにするためである。3つ目は、“Multi Plus 2 町紹介”の単元で「自分の町の紹介文を4文以上の英語で書きまとめ、スピーチをする」という言語活動を行う予定なので、本単元で接続詞を用いて町の特色を表現できるようにしておくことが、その単元の言語活動にもつながるようにするためである。

(2) 新出言語材料について

本単元では、if節・that節(目的)・when節・because節を用いた文の形・意味・用法を指導する。接続節の導入によって、生徒は自分の考えに、時・理由・根拠を付け加えて表現できるようになる。また、“TV is good for children. What do you think?”という話題や揖斐川町のよさ、教科書で読み取った新聞記事の内容について、本単元で指導した言語材料を用いて自分の考えをその理由とともに3文以上で表現することができるようにする。そして、ペアと簡単な対話をして伝え合ったり、伝えた内容を書きまとめたりすることができるようにする。

(3) 生徒の実態

以下の表は、2組の学力状況調査の分析結果である。

	年度当初	一学期末	伸び率
理解の能力・聞く	70.4%	73.3%	2.9%
理解の能力・読む	84.9%	81.7%	3.2%
知識・理解	67.3%	69.0%	1.7%
表現の能力・書く	66.1%	62.7%	3.4%

「理解の能力(聞く力)」では、授業の中でCDやALTの英語の発音を聞く機会を多くとったことや、JETとALTとの対話やQ&A活動によって教科書の内容を確認することを大切にしてきたことが伸びにつながっていると考える。「知識・理解」では、授業の3分前学習として既習の単語や基本文の定着を確かめる小テストの実施や、言語材料を繰り返し発音したり書いたりすることで定着を図る活動を継続して行ったことが伸びにつながったと考える。

しかし、「理解の能力(読む力)」と「表現の能力(書く力)」に課題があることが分かる。「理解の能力(読む力)」を伸ばすために音読練習を繰り返し行う時間を確保してきたが、単語とその意味の理解が結びついていないことや、長文読解で一文ずつ丁寧に訳して確認することを好み、限られた時間内で文章の大意をつかんで読み進めるということに慣れていないことが原因であると考えられる。そのため、単語や文章全体の意味を理解しながら音読できるようにする指導や、教科書本文の大意をつかんで読み進める指導に力を入れていく。また、「表現の能力(書く力)」では、英問英答形式(Q&A)の問題で質問内容が理解できてもその答え方が分からないことや、自己表現問題で書きたいことを既習の表現を活用して正しく書く力に弱さが見られる。そのため、授業内で英問英答形式の問題を多く取り上げて答え方を丁寧に指導することや、自己表現の学習プリントを回収して確認し、そのプリントを見ながら仲間ともう一度会話をする時間を設定することで、英文の作り方や正しい語順について理解することができるよう指導していく。

3 研究主題とのかかわり

学ぶ喜びを実感する生徒の育成

～基礎的・基本的な知識・技能の習得と定着を図る学習指導を通して～

【研究内容1】 基礎的・基本的な知識・技能の習得と定着を図る指導計画の作成

本単元を中心とする言語活動を、「話すこと(イ)：自分の考えを聞き手に正しく伝える」、「書

くこと：（ウ）自分の考えやその理由を書く」活動に設定する。

単元の導入時には、セントジョージから来る生徒たちに揖斐川町のよさを伝えたいという目的意識をもたせ、よさとその理由についてマッピングさせる。そして、伝えるための表現として if 節・that 節（目的）・when 節・because 節などの用法を導入し、これらの接続詞を使うことで伝えることができるようになるという見通しをもたせたい。

教科書の題材は場面や文脈が具体的に与えられており、その内容把握を通して使用されている言語材料の意味・形態・用法について理解を深めることができるようにする。ピクチャーカードを用いて教科書本文の Oral Interactive Introduction を行い、「誰が」「いつ」「どこで・どのような場面で」「何をした・どう思った」「その理由」などを英問英答して本文の概要を復習し、全員で英文を発音しながら確認することで、その後の教科書本文の内容理解や言語活動において助けとなるようにする。また、学習プリントで読み取りの観点を与え、日本語と英語の両方で内容が理解できるようにする。その後、音読練習を繰り返し行うことで正しい発音の仕方や文章構成の型を身につけることができるようにする。その際、ただ繰り返し音読するだけでなく制限時間を設定し時間内に読むことができた回数を表に記入することや、本文の新出単語や重要表現の一部分を隠したり日本語から英語に訳して音読したりすることができる音読シートを作成し、全体や個人で音読練習に意欲的に取り組むことができるようにする。

また、習得した言語材料を用いて特定の話題や新聞記事について自分の意見を持ち、ペアと意見交流を行う。活動後には自分が相手に伝えた考えを書きまとめる。仲間と対話をして意見を交流することで、仲間の意見から表現方法を学び、学んだことを取り入れていくことで、話したり書いたりする力を伸ばしたい。

【研究内容 2】 単位時間における指導の工夫

（2）生徒一人一人のつまずきに応じた指導・援助の在り方

本時のねらいは、「揖斐川町のよさについて、接続詞を用いて自分の考えをその理由とともに3文以上で伝えることができる」ことである。このねらいを達成するにあたって、以下のような生徒のつまずきが予想される。

- ・マッピングを見ながら単語をつないで英文を構成して話したり書いたりすることができない。
- ・書きたいことがあってもその表現方法が分からない。
- ・英単語の発音や英文の読み方が分からない。

これらのつまずきに対して、研究主題と関わらせて以下のような指導・援助を行う。

各単位時間の導入では、文法のプリント学習を行ったり基本表現を繰り返し口頭練習したりする活動を行う。これらの活動によって、基本表現に課題がある生徒のつまずきの解消を図る。

また、本時の学習課題を達成するために、本単元の導入時に揖斐川町のよさとその理由について日本語か英単語でマッピングを作成させ、授業後に学習プリントの英語表現を朱筆する。マッピングの

内容を表現できるように言語材料を学んでいく意識をもたせ、接続詞の用法を理解し、それらを用いて揖斐川町のよさについてどのように伝えるのかを毎時間考えさせておく。そして、前時までに“TV is good for children. What do you think?”という生徒にとって身近な話題を取り上げて自分の考えをもったり、仲間と交流したりすることに慣れることができるようにする。

本時の指導においては、マッピングを見て英文を構成することができるように、個人追究に入る前に既習の言語材料を板書に位置づけて全体で確認する。個人追究の場面では、文章構成に課題がある生徒には教科書をもとにした英文構成の型を与え、それらの表現を活用して書きまとめができるよう個別に指導する。マッピングを見て話すことができる生徒はALTから指導を受けることでより表現力を高めることができるようにする。また、自分の考えをペアや全体で交流する場を2回ずつ設定することによって、生徒のよさを価値づけ、互いに表現を学び合って高めることができるようにする。書きまとめの場面で文章構成に不安を感じる生徒には、言語材料の用法や語順について確認しながら正しく書くことができるよう個別に指導する。

【研究内容3】 効果的な学びのための学習形態の工夫

教科系の指示で授業開始3分前からプリント学習や音読練習に取り組んだり、授業前後のあいさつや日付・曜日・天気・時間の確認を英語で行ったりしている。また、学習班の生徒を中心に学習姿勢についても積極的に働きかける姿が見られる。単位時間内に全員の生徒が集中して授業に向かうことや、教師や仲間の発言を傾聴し、「Do you think so, too?」の仲間からの問いかけに対して「Yes, I do.」と答え、仲間の意見にリアクションとハンドサインで反応することで双方向のコミュニケーションを大切にしている。

また、JETとALTの役割を明確にし、生徒の実態に応じて互いに連携して指導・援助にあたることで、生徒一人一人の課題解決につながるよう努めている。本時では、JETとALTが机間指導を行い、間違えることを恐れずに積極的に自分の考えを話すよう促したり、正しく書くことができているかを確認して助言をしたりする。また、文章構成や発音の仕方、表現方法などに不安を感じる生徒はJETから、より表現力を高めたい生徒はALTから、それぞれ個別に指導を受けることができるよう工夫する。

4 単元指導計画

2年 Unit 5 A New Language Service [全9時間]

単元の指導目標	特定の話題や新聞記事について、接続詞を用いて自分の考えをその理由とともに3文以上で伝えることができる。
---------	---

【単元で扱う題材】 広報誌の記事 ボランティア 新聞記事、投書
--

中心とする言語活動 指導事項及び具体的な活動	「話すこと」(イ) 自分の考えを聞き手に正しく伝える。 「書くこと」(ウ) 自分の考えやその理由を書く。
言語の使用場面	特定の話題や新聞記事について、自分の考えとその理由を伝える。
言語の働き	意見を述べる

【単元で扱う言語材料】 接続詞 if 節・that 節(目的)・when 節・because 節
--

時	ねらい	課題 具体的な学習活動	言語材料	重点を置く評価規準 評価方法	個の実態の応じた手立て
1	活動のイメージと単元の概要と目標、付けたい力を理解できる。【p50~54】	揖斐川町についてどう思うか。セントジョージから来る生徒たちに揖斐川町のよさをどのように伝えたいか、考えてみよう。 揖斐川町のよさについて見つけ、考えとその理由をマッピングしてみよう。	if 節・that 節(目的)・when 節・because 節 <接続詞>	イの <学習プリント> <観察>	・写真を用いてJETとALTの対話が理解できるようにする。 ・マッピング例を板書に位置づける。 ・マッピングを回収して朱筆する。
2	if 節・that 節(目的)を用いた文の形・用法を理解し、それらを用いて揖斐川町のよさについて伝えることができる。【p50~51】	if 節・that 節(目的)の用法を理解しよう。 基本文とif 節・that 節(目的)の意味・用法の確認 I think Ibigawa Town is good. If many people come to Ibigawa Town, I will be happy.	if 節・that 節(目的)	アの、イのと、エの <学習プリント> <観察>	・導入時に言語材料を繰り返し口頭練習する活動を行うことで、基本表現に課題がある生徒のつまずきの解消を図る。
3	when 節・because 節を用いた文の形・用法を理解し、それらを用いて揖斐川町のよさについて伝えることができる。【p52~53】	when 節・because 節の用法を理解しよう。 基本文とのwhen 節・because 節の意味・用法の確認 I think Ibigawa Town is good because we have beautiful nature. I feel fine when I see them.	when 節・because 節	アの、イのと、エの <学習プリント> <観察>	・言語活動で文章を作ることに課題がある生徒には、教科書をもとにした英文構成の型を与え、それらの表現を活用して書きまとめができるよう個別に指導する。
4	「テレビは子どもにとってよい」という話題について、接続詞を用いて自分の考えとその理由を3文以上で伝えることができる。	“TV is good for children.”について、自分の考えとその理由を3文以上で伝えることができるようにしよう。 Q: TV is good for children. What do you think? A: I think so, too. I think TV is good for children because we can learn a lot from TV program. I often watch news on TV. It's helpful for me.	接続詞 if 節・that 節(目的)・when 節・because 節 ・I think ~ because....	アの、イのと、ウの <学習プリント> <観察>	
5 本時	揖斐川町のよさについて、接続詞を用いて自分の考えをその理由とともに3文以上で伝えることができる。	セントジョージから来る生徒たちに揖斐川町のよさとその理由を3文以上で伝えることができるようにしよう。 マッピングを見て、自分の考えとその理由を仲間に伝えよう。 仲間の意見から表現方法を学び、学んだことを取り入れて話したり書きまとめたりすることができるようにしよう。	・I think so, too. ・I don't think so.	アの、イのと、ウの <学習プリント> <観察>	・本文の音読練習を繰り返し行うことで正しく読んだり文章を構成したりすることができるよう指導する。
6	新聞記事について読み取り、自分の考えを3文以上でまとめることができる。【p50~51】	新聞記事の内容を理解し、自分の考えを3文以上でまとめよう。 本文の内容理解 音読練習 新聞記事についての自分の考えを仲間と交流し、考えを書きまとめよう。	・I am for ~ because....	アの、イの、ウの <学習プリント> <観察>	
7・8	新聞記事や投書の内容について読み取り、投書を参考にして自分の意見を3文以上でまとめることができる。【p52~53】	新聞記事や投書の内容を理解し、自分の考えを3文以上でまとめよう。 本文の内容理解 音読練習 新聞記事についての自分の考えを仲間と交流し、考えを書きまとめよう。		アの、イの、ウの <学習プリント> <観察>	
9	ニュースの要点を聞きとることができる。	ニュースの要点を聞きとり、単元の内容のまとめをしよう。 ニュースの要点を聞き取る。 5W1Hの順に語句や文を並べ替えて記事を完成し、コメントを書こう。	<接続詞>	イの、ウの <学習プリント> <観察>	・聞き取りのポイントを示す。 ・文章の構成を板書に位置づける。

単元における評価規準

ア	イ	ウ	エ
コミュニケーションに対する関心・意欲・態度 ペアとの交流活動において、間違ふことを恐れず話している。	外国語表現の能力 自分の考えを聞き手に口頭で伝えることができる。 意見や考えを文章で書きまとめることができる。	外国語理解の能力 場面や状況に応じた聞き方や、目的に応じた読み方をして英語を理解することができる。	言語や文化についての知識・理解 接続詞 if 節・that 節(目的)・when 節・because 節の文の構造を理解している。

5 本時のねらい

揖斐川町のよさについて、接続詞を用いて自分の考えをその理由とともに3文以上で伝えることができる。

6 本時の展開 (本時の位置 5 / 9時)

過程	学習活動	指導・援助
つかむ	<p>1. JET と ALT の対話から本時の課題を生み出す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>JET: Do you know the students from St. George will come to Ibigawa Town? ALT: Yeah, I know. That's nice. We can meet them this November, right? JET: Right. I got an e-mail from them. They want to know about Ibigawa's good points. What can you tell them? ALT: I will tell them about "Kabuki" in Ibigawa Town because I like Japanese traditional culture. When I saw it for the first time, I enjoyed it very much. What do you think, everyone?</p> </div> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>セントジョージから来る生徒たちに揖斐川町のよさとその理由を3文以上で伝えることができるようにしよう。</p> </div> <p>2. 個人追究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言語材料を板書に位置づける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ I think ~. 自分の考えを述べる ・ Because ~, 理由を話す ・ if ~, 状況を仮定する ・ When ~, 場面を限定する ・ For example, ... 例をあげて説明する ・ I can ~. できること ・ So だから ・ But しかし ・ I think so too. 相手の意見に同意するとき ・ I don't think so. 相手の意見に同意しないとき </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 揖斐川町のよさとその理由についてマッピング(日) (英)を見ながら話す練習をする。 <p>3. ペア交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1つのグループ内でペアをつくり、口頭で伝え合う。 <p>(例) A: I think ~ because.... What do you think? B: I think so too. I like Ibigawa Town because....</p> <p>4. 全体交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 挙手発言での発表や抽出生徒の発表から表現を学び合う。 <p>5. ペア交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2つのグループ内でペアをつくり、口頭で伝え合う。 <p>(例) A: Please tell me about Ibigawa Town. B: OK. I think ~ because.... What do you think? A: I think so too. I like Ibigawa Town because....</p> <p>6. 全体交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 挙手発言での発表や抽出生徒の発表から表現を学び合う。 <p>7. 自分の考えを3文以上で書きまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Aさんの例：自然(nature) I think Ibigawa Town is good because we have beautiful nature. I like nature very much. I feel fine when I see them. If many people come to Ibigawa Town, I will be happy. So I want to keep my town clean.</p> </div>	<p>1. 本時のねらいに関わる表現を強調したり、関連する写真を提示したりしながら話すことで対話が理解でき、本時の課題に結びつけることができるようにする。</p> <p>2. マッピングシートは前時まで回収して英語表現を朱筆しておく。 個人練習に入る前に、意見を述べるときに使える表現を全体で確認して板書に位置づける。また、文章構成に不安を感じる生徒はJETのもとへ来るよう指示し、教科書をもとにした英文構成の型を与え、それらの表現を活用して話すことができるよう個別に指導する。マッピングを見て話すことができてより表現力を高めたい生徒はALTから指導を受ける。</p> <p>3. 5. 1回目の全体交流で仲間から学んだ表現を取り入れて再度ペア交流を行う。JETとALTは間違えることを恐れずに積極的に自分の考えを話すことを促す。</p> <p>4. 6. 机間指導をする中で自分の意見を理由とともに具体的に伝えている生徒を抽出して発表させることでよさを価値づけ、仲間の意見から学び、自己表現に取り入れることができるようにする。</p> <p>7. 文章構成に不安を感じる生徒はJETのもとへ来るよう指示し、言語材料の用法や語順について確認しながら正しく書くことができるよう個別に指導する。ALTは全体を机間指導し、正しく書くことができているかを確認したり助言したりする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価規準</p> <p>アの、イの、ウ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペアとの交流活動や全体交流において、間違えることを恐れずに自分の考えを話している。 ・ 自分の考えを聞き手に口頭で伝えることができる。 ・ 意見や考えを文章で書きまとめることができる。 <p>評価方法</p> <p>ペアや全体での交流活動の様子を観察して評価する。また、意見を3文以上で書きまとめることができているかを学習プリントで評価する。</p> </div>
まとめる		